

総社市市民提案型事業

防災講演会・防災体験

地域の災害を知る

総社市内の各種団体の方々にご後援、ご協賛をいただき、防災講演会と防災体験を開催することができました。多くの皆様のご協力に感謝申し上げます。防災講演会と防災体験のひとつお伝えしたいと思います。

主催：西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、西郡自治会、山手地域づくり協議会

日時：平成27年8月23日（日） 13:30~17:00

場所：総社市山手公民館

多目的ホール で会場準備中。



きれいに生け花できてます！！



ただいま受付中です！！



会場内です。講演5分前となりました。



いよいよ講演会が始まります。



開会です。

司会は、
山手公民館西郡分館長 板野誠さん



主催者あいさつ

西郡地区の絆を推進する会
副会長 風早昱源さん



ご来賓のごあいさつを頂戴します。

総社市長
片岡聡一 様

総社市議会議員
劔持堅吾 様

岡山県議会議員
江本公一 様



総合司会のご紹介です。

総合司会は、
岡山理科大学特任教授 野上 祐作 先生



講演会が始まりました。まずは「岡山の自然災害について」です。

京都大学名誉教授（元京都大学防災研究所長） 奥田 節夫 先生がお話されました。先生は、地球温暖化の進行に伴い、今まで災害のない地域でも、想像もできないような災害が起こる可能性があること。 そのためには、災害が起こることを前提に日頃から準備をしておくそして、安全・安心と考えている地域ほど重大な災害を受ける可能性がある」と強調されました。



次に「豪雨土砂災害の発生機構と対策について－広島市土砂災害の教訓－」です。

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授 西村 伸一 先生に講演をお願いしました。西村先生は、現状ではハード的な対策で、土砂災害を完全に防止することは困難なため、日頃から周囲の状況を確認、危険を感じたり、避難勧告等がでたら早急に避難することが大切と強調されました。



最後の講演は、「家族でみてみよう！総社市の防災サイトとデジタルハザードマップ」です。

岡山県立大学造形デザイン学科講師 齋藤 美絵子 先生が講演されました。

先生は、災害が起きることを前提に、ラジオ、懐中電灯、携帯充電器などの非常持ち出し用品と当面の生活に必要な水、食料、衣服、寝具等を準備し、日頃から定期的に点検しておくこと、そして、災害情報を的確に入手できる手段と方法を事前に確保しておくことが大切と強調されま



講演会に続きパネルディスカッションを行いました。

コーディネーターは、野上 祐作 先生にお願いしました。

講演者の奥田 節夫 先生、西村 伸一 先生、齋藤 美絵子 先生に加え、

総社市から危機管理室 小池 初男 室長、消防本部警防課 上野 伸司 課長に加わっていただきま

ディスカッションでは、総社市が想定している災害と対策について真剣な議論が行われ、白熱したパネルディスカッションとなりました。



白熱討論中。



防災展示、体験、訓練が行われました。

総社市消防本部、消防署、総社市消防団山手分団の方々のご協力により、消防車や地震体験車に直接触れることができました。

行列ができるほどの多くの子もたちや大人が集まり、地震の恐ろしさや放水訓練、消火栓の使い方など、防災の実際を具体的に体験することができました。

地震体験車の乗車を待ってます。



地震の疑似体験中です！！（揺れています）



消防自動車も来ています。



子どもたちによる放水体験です！！



多くの子どもたちが放水体験をしました！！



おとなも放水体験をしました！！



こどもたちへのプレゼントがありました。



プログラム終了。長時間お疲れさまでした。



今回の防災講演会には、320名を超える住民や防災関係者の皆様に参集していただきました。この防災講演会と防災体験が、皆様の安全と安心の確保にいくらかでもお役に立てれば幸いです。